

植物多様性センターの「ヤマユリとサクユリ」

正門付近を歩くとヤマユリとサクユリの良い香りが漂ってきます。ヤマユリは本州に分布する日本固有種です。白い花被片に赤褐色の斑点がある大きな花で、園芸用に多く植えられます。サクユリは伊豆諸島のみ分布するヤマユリの変種で、カサブランカなどの園芸品種の原種にもなっています。花が更に大きい、葉の幅が広い、赤褐色の斑点が無い又は少ない等の違いがありますが、島ごとに変異や個体差もあって1つの特徴だけでは見分けられない種類です。



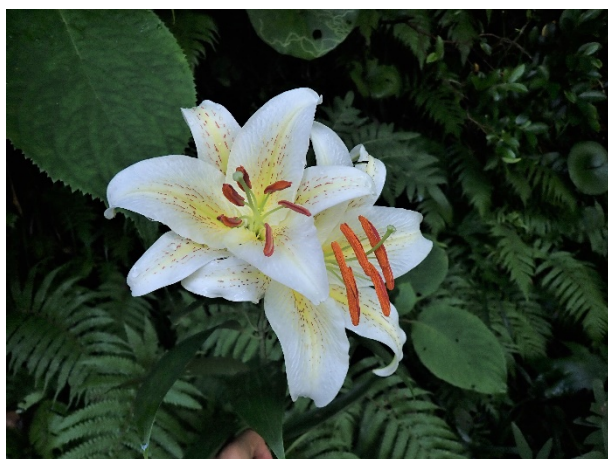
ヤマユリの花: 昼間も香りは強いが、夜は蛾を呼ぶ為に更に香りが強くなる。



サクユリ: 園内に植栽されているもの。赤褐色の斑点はない。



園内に自生しているヤマユリ。他種の遺伝子が混じっていると思われる。



神津島で撮影したサクユリ。赤褐色の斑点がある。